

平成26年度 第1回宇都宮市生涯学習センター運営審議会

日 時：平成26年6月25日（水）
午前10時00分～

場 所：宇都宮市教育センター
1階コミュニティホール

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 委員紹介

4 議 事

- (1) 平成26年度生涯学習センター運営審議会の審議内容について 【資料1】
- (2) 宇都宮市民大学運営協議会への委員推薦について 【資料2】
- (3) 平成27年宇都宮市成人式の日程等について 【資料3】
- (4) 平成25年度生涯学習センター事業運営の評価について 【資料4】

5 そ の 他

6 閉 会

宇都宮市生涯学習センター運営審議会委員

No.	氏 名	役職名等（選出生涯学習センター）
1	おおや やすひろ 大矢 裕啓 (副委員長)	中央地区体育協会理事（中央生涯学習センター）
2	たけうち りつ 竹内 律	陽東地区まちづくり協議会事務局長（東生涯学習センター）
3	いとう しょういち 伊藤 昭一	宇都宮市生涯学習コーディネーター（東生涯学習センター）
4	はしもと かつこ 橋本 克子	富士見地域富士見婦人会会長（西生涯学習センター）
5	なかやま ひろし 中山 弘	陽光地区連合自治会会長（南生涯学習センター）
6	みやもと はるひさ 宮本 明尚	細谷小学校地域協議会委員（北生涯学習センター）
7	よしだ おさむ 吉田 治	平石地区まちづくり協議会会長（平石生涯学習センター）
8	いけだ ふみお 池田 文男	城山地区コミュニティ協議会会長（城山生涯学習センター）
9	まつだ いちろう 松田 一郎	雀宮地区自治会連合会会長（雀宮生涯学習センター）
10	さかもと のぼる 坂本 登	豊郷地区連合自治会会長（豊郷生涯学習センター）
11	あかさか せつこ 赤坂 節子	民生委員・児童委員（河内生涯学習センター）
12	はせがわ きょうこ 長谷川 京子	中央生涯学習センター利用団体代表（中央生涯学習センター）
13	もりの みつる 森野 満	南生涯学習センター利用者連絡協議会会長（南生涯学習センター）
14	くぼい ようこ 久保井 陽子	上河内生涯学習センター利用団体代表（上河内生涯学習センター）
15	さいとう えみこ 齋藤 恵美子	宇都宮市立御幸小学校長（小学校長会）
16	ささき とくし 佐々木 徳志	宇都宮市立陽東中学校長（中学校長会）
17	いの たかみち 飯野 貴道	宇都宮青年会議所監事
18	ますぶち ゆきお 増渕 幸男 (委員長)	大学講師
19	きし しんすけ 岸 伸輔	公募委員
20	うがじん みつお 宇賀神 光夫	公募委員

平成26年度生涯学習センター運営審議会の審議内容について

1 今年度の主な案件について

(1) 平成27年度生涯学習センター事業運営の考え方について

次年度の事業計画を策定するにあたり、センター事業の実績や評価とともに、昨年度に整理した「生涯学習センター」、「人材かがやきセンター」、「市民大学」の各種事業が担う領域の考え方などを踏まえ、平成27年度の生涯学習センター事業運営の考え方について審議、決定する。

また、今年度は、本市の附属機関である「社会教育委員の会議」において、社会的課題に即応した学習提供について意見交換を重ねていることから、その結果についても十分に踏まえながら審議を行う。

⇒ (参考資料) 「宇都宮市を取り巻く社会情勢の変化」

(2) 平成27年度生涯学習センター事業計画について

生涯学習センター事業運営の考え方に基づき、各生涯学習センターが企画した平成27年度のセンター事業計画について意見を聴取する。

2 今年度の会議開催スケジュールと議事について

・ 第1回 平成26年6月25日 (今回)

・ 第2回 平成26年10月 (予定)

- (1) 平成27年度生涯学習センター事業運営の考え方について
- (2) 平成27年宇都宮市成人式について
- (3) 平成26年度生涯学習センター文化祭について

・ 第3回 平成27年3月 (予定)

- (1) 平成27年度生涯学習センター事業計画について
- (2) その他、年度内に実施した事業の報告等

3 その他

生涯学習センターの企画・運営に関する課題の解決方策等について適宜、意見聴取する。

- ・ 新規の受講者や若年層の受講者を呼び込む方策の検討
- ・ 地域がかかえる課題に対応した事業の実施
- ・ 受講者の仲間づくりや地域活動につながる参加学習型講座の充実

宇都宮市を取り巻く社会情勢の変化

日本における社会情勢の変化

- 少子化・高齢化の進展
 - ・生産年齢人口の減少，経済規模縮小，社会保障費の拡大
- グローバル化の進展
 - ・人，モノ，情報等の流動化，国際競争の激化
- 雇用環境の変容
 - ・終身雇用，年功序列等の変容
- 地域社会，家族の変容
 - ・つながりや支え合いの希薄化，価値観の多様化
- 格差の再生産・固定化
 - ・経済格差の進行→教育格差→教育格差の再生産
- 地球規模の課題への対応
 - ・環境，食料，エネルギー，民族紛争など様々な問題に直面

世界情勢

- 人口問題
 - ・資源消費の需要増加による地球への負荷の増大
 - ・貧富の格差の拡大，少子高齢化
- 環境問題
 - ・人口増加や経済成長による廃棄物量の増加
 - ・地球温暖化，オゾン層破壊，森林減少など
- 食糧問題
 - ・人口増加や食生活の変化（飽食），異常気象などによる食糧不足
- 宗教，民族問題
 - ・宗教や政治，歴史，経済など多様な背景による民族間の対立

宇都宮市における社会情勢の変化

○人口減少局面への突入と人口構造の変化

- ・H27年頃をピークに人口減少，H34年には4人に1人が高齢者
- ⇒高齢者が元気に生活できる環境，仕事と家庭の両立，安定維持な福祉

○家族や地域の変容

- ・地縁関係の希薄化や単身世帯の上昇等による地域コミュニティの活力低下
- ⇒連携（市民，団体，行政）した課題対応，地域を支える人材の育成

○地域産業・経済を取り巻く状況の変化

- ・市内総生産の減少，中心市街地の空き店舗の慢性化
- ⇒高い生産性や付加価値，担い手となる人材，交流・定住人口の増加

○安全・安心で環境にやさしい都市づくりへの要請の高まり

- ・東日本大震災による住宅，道路，公共施設などの被害
- ⇒全市民が安全で快適に暮らすことができる環境にやさしい都市づくり

◎第5次総合計画

まちづくりの重点課題

- ① 子育て支援の充実
- ② 高齢者の生活の質の向上
- ③ 安全で安心な生活環境の創出
- ④ 環境調和型社会の構築
- ⑤ 総合的な交通体系の確立
- ⑥ 魅力ある拠点の創造
- ⑦ 都市の個性づくりと発信
- ⑧ 次代を築く人材の育成
- ⑨ 産業力の強化
- ⑩ 地域が主体となったまちづくり

～現代的課題のキーワード～

想定分野	キーワード（一例）
生命	・安楽死・尊厳死・脳死判定・インフォームドコンセント
健康	・生活習慣病・医療事故・アナフィラキシーショック・認知症・うつ病など精神疾患の増加・受動喫煙・かくれ肥満・メタボリックシンドローム・プチ整形・メンタルヘルス・感染症・食物アレルギー・若年性認知症・新型出生前診断・医薬品のネット販売
人権	・発達障がい・性同一性障害・ユニバーサルデザイン・バリアフリー・女性差別・被差別部落問題・人種差別
豊かな人間性	・規範意識の低下・道徳観・倫理観の低下・コミュニケーション能力の低下・人間力の向上
家庭・家族	・DV・家庭内暴力・少子化・晩婚化・核家族・出生率低下・不妊治療育児ストレス・児童虐待・育児休暇・産休・男性の育児参加・母子家庭・ひきこもり・かぎっこ・未婚・離婚率の上昇・ファザーリング・イクジイ・イクメン・「孤」育て支援・祖父母の子育て参画・一人親家庭の増加・国際結婚の増加・待機児童問題→女性の社会進出の阻害地域（家庭）内教育力の低下・夫婦別姓・おひとりさま・財産相続トラブル
消費者問題	・流通・ネットショッピング・クーリングオフ・食品偽装問題
地域の連帯	・被災地復興・震災関連・防災・防犯・ごみ問題・無縁社会・孤独死・自治会未加入・過疎化・地域活動支援・地域人材不足・地域内コミュニケーションの希薄化・郷土愛の醸成・ミニ開発とコミュニティの希薄化・新旧住民の地域温度差（地域の関心度）
まちづくり	・中心市街地活性化・シャッター通り・市町村合併・身近な地域商店街の衰退⇄郊外型商業施設
交通問題	・渋滞・交通事故・次世代モビリティ産業・車依存社会→大気汚染→交通渋滞→事故多発・LRT・自転車専用道路の整備、自転車マナーの低下・交通弱者・てんかん発作による交通事故問題
高齢化社会	・超高齢社会・介護・地域医療・ホスピス・老老介護・独居老人・終末医療・高齢者の医療費拡大（病院の集会所化）・シニアボランティア・シルバー人材の活用・高齢者による犯罪の増加（万引き）・ごみの戸別収集制度・遠距離介護・生前整理
男女共同参画型社会	・男女雇用機会均等法・女性に対するDV・セクシャルハラスメント・配偶者暴力相談支援センター・母子養護支援施設
科学技術	・iPS細胞・地震危険度マップ・はやぶさ・国際宇宙ステーション・STAP細胞・3Dプリンター
情報の活用	・ITC社会・携帯電話・スマホ・情報リテラシー・デジタルデバイド・情報化の促進と情報弱者・個人情報保護法の壁・BPO・クラウドコンピューター・LINE（ライン）
知的所有権	・知的財産・特許・著作権
国際理解	・外交・安全保障・TPP・国際化・アジアの台頭・北方領土・シリア内戦・パレスチナ問題・ウクライナ情勢・尖閣諸島問題・竹島問題
国際貢献・開発援助	・ODA・NGO・世界の貧困
人口・食料	・食料自給率・人口減少・飢餓人口問題・定住人口
環境	・有害鳥獣・地球温暖化・花粉症・環境汚染・絶滅危惧種・ごみのリサイクル、エコ・自然災害・大気汚染・PM2.5・電磁波・騒音・放射性物質・南海トラフ地震・福島第一原発の汚染水
資源・エネルギー	・脱原発とエネルギー・レアアース・放射線知識と理解・放射線瓦礫の国有地受入・電力不足と自然環境保全対策・シェールガス・メタルハイドレード・再生可能エネルギー・原発再稼働
教育	・いじめ問題・ネットいじめ・学級崩壊・学力低下・運動量の低下・数学離れ・理科離れ・読書率の低下・不登校・リストカット・自殺・薬物・暴走族・体罰・校内暴力・援助交際・出会い系サイト・歴史教科書・モンスターペアレンツ・教育再生会議・児童・生徒の安全・安心対策・発達障がい・特別支援・非行・大学の大衆化・教員の教育力向上の問題・自然体験・外遊びの不足・学校裏サイト・中1ギャップ・小1プロブレム・小中一貫・地域学校園・職業観の醸成・キャリア教育・道徳教育
政治・経済	・景気回復・雇用・失業・年金・公務員改革・憲法改正・消費税・政局・増大する生活保護・生活保障のあり方・貿易摩擦・円高円安・産業の空洞化・非正規採用・派遣社員・生涯賃金・M字カーブ・国際化企業・サプライヤー・就労支援・就職難民・投票率の低下・一票の格差・ねじれ国会・ユーロ危機・日米安保・日中関係・日韓関係・改正労働契約法・マイナンバー制度・憲法改正論・普天間基地移転・大阪都構想・特定秘密保護法・ネット選挙解禁・集団的自衛権・アベノミクス・消費税8%
その他	・地産地消・テロ・後継者不足・伝統文化・工芸・軍事産業・ネットカフェ・直売所・小売店・地域間格差・定年延長・不法投棄・サラ金・おれおれ詐欺・窃盗団・ボランティア・拉致問題・パワーハラスメント・ワークライフバランス・フリーター・パラサイト・リストラ・就職難・宗教戦争・テロリズム・靖国参拝・不良債権・人口爆発・農業後継者問題・ネット犯罪・格差社会・個人所得格差の増大・子どもファッションの大人化・ストーカー被害・日本式おもてなしの海外進出・マクド難民・薬のネット販売・死刑問題・スキミング被害・睡眠軽視社会・手抜き除染・米軍飛行場移設問題・子宮頸がん予防・裁判員制度・学生の就職難・急激な社会の変化への対応・社会教育団体等の後継者（人材）不足・市街地（都市部）と周辺（農山村地域）・システムとしての宇都宮観光推進・農業後継者不足→食料自給率の低下・ブラック企業・富士山の世界遺産登録・2020年東京オリンピック

【参考】「社会の要請」の高まりについて

- ・ 平成26年5月26日開催
- ・ 宇都宮市「社会教育委員の会議」より

【主な意見】（一部抜粋，順不同）

● 「少子化・子育てなど」

- 子育てに関する知識が不足している親の問題
- 兄弟がいないことが子どもの育成に影響
- 人との関わりに不安をもっている子ども
- 子どものスポーツ離れや遊びの減少
 - ⇒ 学習支援としての親学
 - ⇒ 親の不安を解消できる場面をもっと作っていくこと
 - ⇒ 目上の人も含めた地域のコミュニティが形成
 - ⇒ 子どもに対する体験を通じた学習
 - ⇒ 全ての年代を通じて，いろいろな人と関われる場面や環境づくり
 - ⇒ 学校の先生や親に対して，地域での遊びやスポーツの機会の創出
 - ⇒ 地域にはいろいろな人材がいるので，そういった人たちを発掘できるような学び

● 「高齢化など」

- 高齢世帯や高齢者の単身世帯の増加
- 高齢者のひきこもり，特殊詐欺，介護問題
 - ⇒ 高齢者本人だけでなく，家族にも学習を提供する
 - ⇒ 弱者としての高齢者にどう対応していくかというよりも，いかに楽しく元気に生活できるかという学習や施策
 - ⇒ 地域課題に対して動いていける学習やボランティアを作るような学習
 - ⇒ 事例や法令などの学習を提供
 - ⇒ 地域をよく知ってもらい，地域のコミュニティがもっと使えることを知ってもらう

● 「国際化」

- グローバル化の進展
 - ⇒ 地域や日本など良く知ること

● 「ICTの進化」

- スマートフォンやSNSなどの危険性
 - ⇒ 中高生に対しては利便性と危険性の認識
 - ⇒ 中高生本人へ対しても必要だが，保護者への啓発がやはり重要
 - ⇒ 親にフィルタリングなどの学習

● 「雇用」

- 若者の就労，非正規雇用の問題
 - ⇒ 学生にもっと職業観を広めるもらうこと
 - ⇒ 企業のことを学生によく知ってもらうこと

● 「モラル・マナー」

- 郷土愛の醸成や隣人愛
 - ⇒ 道徳など精神的な学習も重要

● 「貧困」

- 貧困・格差，家庭の経済格差による学習格差
 - ⇒ お金がかからないで学習の場に出られる等の仕組み

宇都宮市民大学運営協議会への委員推薦について

- ・ 市民大学運営協議会は、宇都宮市民大学の事業を円滑かつ効果的に運営するための機関であり、委員は学識経験者、生涯学習関係者及び生涯学習コーディネーターにより10人以内で組織されている。
- ・ 今回、委員の改選に伴い、生涯学習関係者として1名の推薦依頼がきている。

〔推薦する委員〕

委 員

平成 27 年宇都宮市成人式の日程等について

◎ 趣旨

平成 25 年度に会場の一つが閉鎖したことに伴い、平成 27 年成人式については多くの実施会場が変更となることから、日時及び会場について報告するもの

1 目的

宇都宮市成人式は、20 歳を迎えた新成人の門出を全市をあげて祝い励ますとともに、参加した新成人の「地域社会の一員としての自覚」や「地域に育てられたことへの感謝の気持ち」を育むことを目的として実施している。平成 27 年宇都宮市成人式についても、成人教育の第一歩として教育的意義を持った事業となるよう取り組んでいく。

2 主催・実施機関

主催 宇都宮市・宇都宮市教育委員会

実施機関 宇都宮市成人式各中学校区会場実施委員会

3 平成 27 年成人式の実施概要

(1) 日時

平成 27 年 1 月 11 日 (日)

① 午前開催 午前 10 時 00 分～正午

② 午後開催 午後 2 時 00 分～午後 4 時 00 分

(2) 会場

25 中学校区ごとの会場 (ホテル・結婚式場 9 施設 25 会場)

裏面参照

(3) 該当者

平成 6 年 4 月 2 日から平成 7 年 4 月 1 日の間に生まれた、本市住民基本台帳に登録されている者

※ ただし、本市出身者で市外に転出した等、本市の成人式への出席を希望する者も対象とする。

4 スケジュール

平成 26 年 3 月末	開催日程・会場を決定
3 月末～	市民、関係団体・機関への周知・情報提供 (ホームページ、広報紙 6 月号、会合での情報提供など)
7 月頃～	各地域における実施委員会の開催 (成人式の企画など)
11 月中旬	成人式案内状の送付 (新成人あて)
12 月頃	成人式招待状の送付 (来賓あて)
平成 27 年 1 月 11 日	成人式の開催

平成27年宇都宮市成人式 会場一覧

■ : 昨年からの変更部分

中学校区など	成人式会場	
	午前開催	午後開催
一条中学校区		護国会館
陽北中学校区 栃木県立のざわ特別支援学校 栃木県立わかかさ特別支援学校		ホテル東日本宇都宮
旭中学校区	護国会館	
陽南中学校区	宇都宮東武ホテルグランデ	
陽西中学校区 作新学院中等部 栃木県立盲学校 栃木県立聾学校 宇都宮大学教育学部附属特別支援学校		ホテルニューイタヤ
星が丘中学校区 宇都宮大学教育学部附属中学校	宇都宮東武ホテルグランデ	
陽東中学校区 宇都宮東高等学校附属中学校	ホテル東日本宇都宮	
泉が丘中学校区		ホテル東日本宇都宮
宮の原中学校区 宇都宮短期大学附属中学校	ホテルニューイタヤ	
清原中学校区 宇都宮海星女子学院中学校		二荒山会館
横川中学校区		ホテルマイステイズ宇都宮
瑞穂野中学校区	ヴィラ・デ・マリアージュ宇都宮	
豊郷中学校区	ホテル東日本宇都宮	
国本中学校区		ホテル東日本宇都宮
城山中学校区		コンセーレ
晃陽中学校区 栃木県立富屋特別支援学校	ホテル丸治	
姿川中学校区	コンセーレ	
雀宮中学校区	二荒山会館	
鬼怒中学校区	ホテルマイステイズ宇都宮	
宝木中学校区		宇都宮東武ホテルグランデ
若松原中学校区		宇都宮東武ホテルグランデ
上河内中学校区	ホテル東日本宇都宮	
古里中学校区	ホテルニューイタヤ	
田原中学校区		ホテルニューイタヤ
河内中学校区 栃木県立岡本特別支援学校	ホテルマイステイズ宇都宮	

開催日	平成27年1月11日(日曜日)	
開催時間	午前開催	午後開催
受付	午前9時30分～10時	午後1時30分～2時
式典等	午前10時～正午	午後2時～4時

平成 25 年度生涯学習センター事業運営の評価について

1. 実施状況

平成 25 年度に各生涯学習センターで実施した生涯学習講座の状況については、講座数は 129 講座（前年度 125 講座）、実施回数は 616 回（前年度 576 回）となり、各地域の学習拠点において、継続した学習機会を提供する事ができている。また、参加者数は、延べ 22,098 人（前年度 21,747 人）と増加している。

講座の内容については、文化・教養講座や身近な生活課題に関する講座の充実が図られているとともに、講座を通じた仲間づくり事業にも積極的に取り組んでいる。

⇒ 参考資料「平成 25 年度生涯学習センター事業実績」参照

2. 事業運営の評価

(1) 重点項目「ア. 人間力の向上に資する事業の充実」

【考え方】

激しく変化する社会の中で、市民一人ひとりが心豊かに生活できるよう、学ぶことの喜びや仲間づくりにつながる趣味・教養的な講座を引き続き実施するとともに、個人の自立を促すための生活に役に立つ講座や国際交流，男女共同参画，人権，まちづくりなど社会の要請に対応する講座の充実を図る。

【実績・評価】

「社会的課題」や「生活課題」に対応した講座については、前年度より増加しており、各地域において、課題解決に向けた学習の提供ができている。

「文化・教養を学ぶ講座」や「趣味・生きがいにつながる講座」についても増加しており、市民の学習意欲の向上や主体的な学習・相互教育などを行う場や機会が充実している。

また、「交流・仲間づくりを目的とした講座」については、前年度と同様に実施されており、学びを通して人と人との絆が育まれ、地域の活力向上が図られている。

・社会的課題に対応した講座	27 講座（前年度：18 講座）
・生活課題に対応した講座	70 講座（前年度：66 講座）
・文化・教養を学ぶ講座	72 講座（前年度：62 講座）
・交流・仲間づくりを目的とした講座	94 講座（前年度：95 講座）

(2) 重点項目「イ. 家庭・地域の教育力の向上に資する事業の充実」

【考え方】

「人づくり」の基本となる家庭と地域の教育力の向上を図るため、家庭や親の役割や責任、子どもとの関わり方などについて保護者の気づきを促す講座や子育ての知識や技術を身につけるための講座などを実施する。実施にあたっては子育て中の親の仲間づくりにつながるよう、参加交流機会の充実に努める。

また、地域ぐるみで子どもを育てる意識の醸成を図るとともに、学校や企業など、地域を構成する各主体とのより一層の連携・協力を図り、家庭と地域が抱える課題の解決に資する事業の充実に努める。

【実績・評価】

「子育て世代を対象とした事業」については、事業数や参加者数ともに前年度より増加しており、講座内容としては、交流・仲間づくりを目的とした講座を多く実施していることから、親子がスキンシップを図りながら子育ての知識を学ぶだけでなく、子育てにおいて有効な親同士の意見交換などを意識した交流の場や、子育てネットワークづくりの場の提供が図られている。

また、「学校との連携講座」についても微増しており、地域ぐるみで子どもを育てる意識の醸成を図るため、引き続き、学校をはじめとし、地域団体や企業などとの連携や協力を得た事業を実施していく。

- ・子育て世代対象事業 40講座, 232回 (前年度: 36講座, 196回)
(40講座のうち、交流・仲間づくりを目的とした講座 36講座)
- ・学校との連携講座 11講座 (前年度: 9講座)

(3) 重点項目「ウ. 学習情報拠点としての充実」**【考え方】**

市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、生涯学習センターは地域の学習情報の拠点として、積極的な情報収集や提供とともに、生涯学習センターの情報共有を行い、学習相談の充実に努める。

【実績・評価】

各生涯学習センターにおいて来館や電話による学習相談や、相談者のニーズに応じた情報提供を行っている。

指 標	H 2 5	H 2 4	備 考
学習相談件数	1,671件	1,523件	「参考資料」参照
生涯学習センターへの登録件数 (団体・講師)	2,762件	2,736件	生涯学習情報提供システム(マナビス)より

平成26年度、マナビスのシステム変更に伴うリニューアルを予定しており、情報提供事業のさらなる充実に取り組む。

(4) 重点項目「エ. 地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進」**【考え方】**

市民の地域に根差した学習活動を推進するため、各種ボランティア等の養成を推進するなど、地域で活躍できる「人づくり」の充実に努めるとともに、地域に目を向け、地域のもつ魅力や課題に気づききっかけとする地域学講座の実施に努める。また、学んだ人材が学習成果や経験を活かせるような機会と場の提供に努める。

【実績・評価】

「地域理解を目的とした講座」については、前年度より増加しており、地域の魅力や課題に気づききっかけとなる「地域学講座」の実施など、地域課題解決に向けた学習の推進が図られている。

また、「指導者養成を目的とした講座」についても増加しており、地域における指導者や各種ボランティアの養成など、地域社会を構成し運営する人づくりの推進が図られている。

- ・地域理解を目的とした講座 36講座 (前年度: 25講座)
- ・指導者養成を目的とした講座 13講座 (前年度: 9講座)